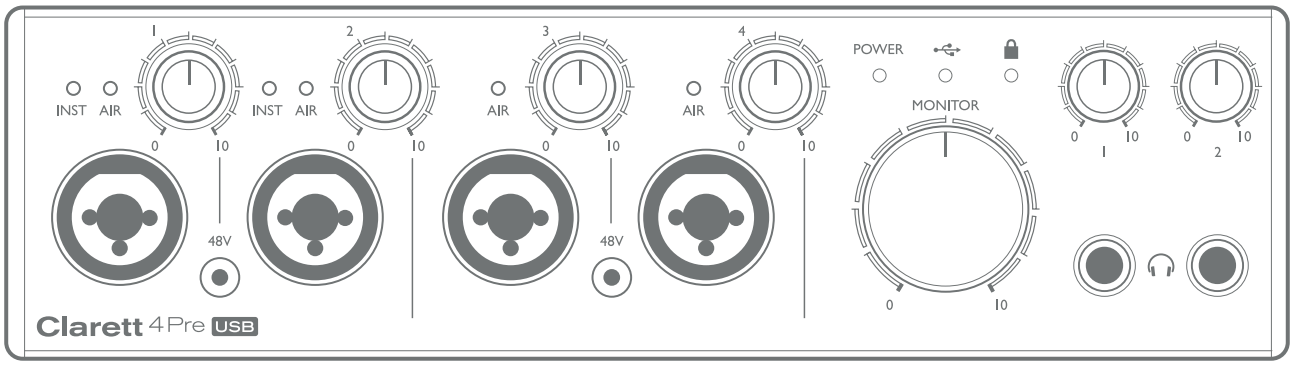
Clarett 4Pre USB

ユーザーガイド



Focusrite®

www.focusrite.com

バージョン 1.0

目次

概要 3
はじめに 3
特徴 4
同梱物 5
システム要件 5
さあ、 始めましょう 6
ソフトウェアのインストール 6
各部の名称と特徴 7
フロントパネル 7
リアパネル 8
Clarett 4Pre USB を接続する 9
コンピュータのオーディオセットアップ 9
DAW でのオーディオセットアップ 9
Clarett 4Pre USB をラウドスピーカーに接続する 10
使用例 12
1. 小人数バンドのレコーディング 12
2. オプティカル接続を使用して（もしくは使用せずに）ドラムキットをレコーディングする 14
3. レコーディング中にフォールドバックを行う 16
FOCUSRITE CONTROL - 概要 17
Clarett 4Pre USB 技術仕様 18
性能仕様 18
物理的特性と電気的特性 19
トラブルシューティング 20
著作権表示と法定通知 20

概要

警告：イヤフォンやヘッドフォンからの音圧レベルが高すぎると、聴力障害を引き起こす恐れがあります。

警告：本機器は USB タイプ 2.0、3.0、3.1 ポート、または Thunderbolt™ 3 ポートにのみ対応しています。コンピュータのシリアルポートの互換性に関する詳細は次の URL を参照してください：

https://support.focusrite.com/hc/en-gb/articles/115002287829-USB-port-clarification-and-compatibility

はじめに

Focusrite Clarett 4Pre USB をご購入いただきありがとうございます。Clarett 4Pre USB はプロフェッショナル用 USB オーディオインターフェースのシリーズの 1 つであり、独自の'AIR' 機能を備えた新設計の高品質 Clarett アナログプリアンプを搭載しています。Focusrite Control アプリケーションと組み合わせて使用することで、コンピュータレコーディングシステムとの間で高品質のオーディオを超低レイテンシーでルーティングすることができ、多目的かつプロフェッショナルなニーズに答えます。

また、Clarett 4Pre USB をステージ上でスタンドアローンのインターフェースとして使用することで、Focusrite が誇る高品質アナログマイクロフォンプリアンプによるサウンドをライブパフォーマンスで活かすことができます。

本ユーザーガイドでは、本製品の操作上の機能を十分理解していただくために、本体について詳しく説明しています。Clarett 4Pre USB が持つ全ての可能性を把握していただくために、コンピュータベースのレコーディングが初めての方や既に経験豊富な方を問わず、あらゆる方に本ガイドを最後までよく読んでいただくことを推奨します。

> **重要：**本ユーザーガイドに加え、Focusrite Control ソフトウェアガイドを読んでいただくことを推奨します。ソフトウェアガイドは、http://www.focusrite.com/downloads よりダウンロードが可能です。これには、Focusrite Clarett USB インタフェースで使用するために特別に設計されたソフトウェアアプリケーション Focusrite Control の詳細が記載されています。

いずれのガイドにも必要な情報が見つからない場合は必ず www.focusrite.com/answerbase を参照してください。一般的なテクニカルサポートの問い合わせに対する回答が総合的に紹介されています。また、「Getting Started」ビデオチュートリアルは次の URL より視聴できます：www.focusrite.com/get-started/clarett-4PreUSB

特徴

Clarett 4Pre USB オーディオインターフェースでは、コンピュータの USB ポートを使用することで、マイク、楽器、ラインレベルのオーディオ信号およびデジタルオーディオ信号をコンピュータに接続することができます。入力部に接続された信号は、オーディオレコーディングソフトウェア/デジタルオーディオワークステーション（本ユーザーガイド全体で「DAW」と称します）にルーティングすることが可能です。同様に、DAW からの出力を本体の出力部に送るように設定することができます。

マイク、楽器などのオーディオソースを DAW に録音し、アンプやスピーカー、パワードモニター、ヘッドフォン、ミキサー、その他のアナログやデジタルオーディオ機器を使用して再生することができます。

Clarett 4Pre USB は MIDI インターフェースとしても機能するため、コンピュータをスタジオ内の他の MIDI 機器に接続することができます。

Clarett 4Pre USB の重要な特徴として、アナログプリアンプの設計が挙げられます。クラス最高のダイナミックレンジと、必要とされる全てのゲインを供給する機能に加えて、エキサイティングな新しい'AIR'機能が回路内に含まれています。各チャンネルで個別に選択可能な'AIR'は、プリアンプの周波数特性をわずかに変更することで、Focusrite の伝統的なトランスフォーマーベースの ISA マイクプリアンプのインピーダンスとレゾナンスをエミュレートします。クオリティの高いマイクで録音を行った際には、ボーカルや多くのアコースティック楽器にとって最も必要とされる、中高域の周波数の明瞭さと鮮明度がより向上されます。

付属のソフトウェアアプリケーション **Focusrite Control** は、ユーザーの操作を最小限に抑えるように設計されているため、最も一般的なレコーディングタスクに適した信号ルーティングで Clarett 4Pre USB を簡単に設定できます。より複雑なシチュエーションで使用する場合には、詳細なルーティングおよびモニタリングオプション、サンプルレートや同期などの一般的なハードウェア設定を制御することができます。Focusrite Control は以下の URL からダウンロードできます：
http://uk.focusrite.com/downloads

iPad および iPhone のユーザーの方は、さらに **Focusrite iOS Control** を App Store® よりダウンロードできます。本アプリはコンピュータ上で実行されている Focusrite Control と Wi-Fi 経由で通信することで、iOS デバイスからモニターミックスを調整することができます。詳細は、https://support.focusrite.com/hc/en-gb/articles/212028389-Focusrite-iOS-Control-Basic-setup を参照してください。

同梱物

Clarett 4Pre USB には以下が付属します：

- 外部 12V DC 電源ユニット（PSU）
- USB-C to USB-A ケーブル
- USB-C to USB-C ケーブル
- 次のオンラインリソースにアクセスするためのコードを含む「Important Information」：
  - Focusrite Control*
  - Windows 用ドライバ*
    （Clarett 4Pre USB は Mac に対してクラスコンプライアントであるためドライバは不要です）
  - 2GB の Loopmasters サンプル音源集
  - Focusrite Red 2 および Red 3 Plug-In Suite
  - Softube Time & Toneプラグインバンドル
  - XLN Audio Addictive Keys の任意のソフトウェアインストゥルメント
  - Ableton Live Lite レコーディングソフトウェア

*これらのソフトウェアアイテムには次の URL より直接アクセスが可能です：www.focusrite.com/downloads

システム要件

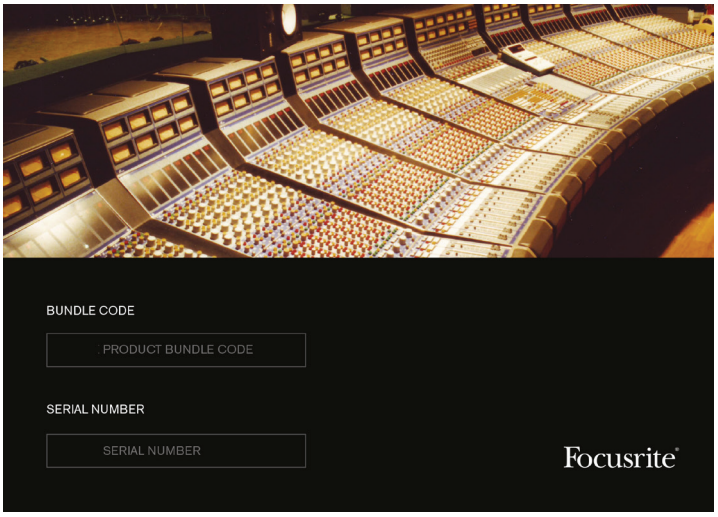
重要 – 全ての Clarett 製品に対するコンピュータおよびオペレーティングシステムの互換性について最新の情報は次のリンクにアクセスしてください：
www.focusrite.com/clarettUSB/compatibility

さあ、始めましょう

重要 - Windows ユーザーの方：インターフェースをコンピュータに接続する前に、必ず Clarett 4Pre USB のドライバをインストールしてください。

ソフトウェアのインストール

Clarett 4Pre USB が必要とする全てのソフトウェアには強力かつ便利な追加機能が含まれており、Focusrite ウェブサイト（www.focusrite.com/register）よりダウンロードが可能です。Clarett 4Pre USB に付属する「Important Information」には、上記のウェブアドレスで入力する必要のある認証コードが含まれます。この手順を踏んでいただくことで、最新のソフトウェアバージョンが確実にインストールされます。



1. www.focusrite.com/register/ にアクセスします。

2. 画面上の指示に従って、バンドルコードを入力します。
   バンドルコードは、本体に同梱されている「Important Information」に記載されています。

3. すると「My Product」ページにアクセスできるようになるので、こちらで登録した製品に対するダウンロード可能なソフトウェア製品が表示されます。また製品には、必要に応じてアクティベーションコードが含まれています。

Windows ユーザーの方のみ：

4. Focusrite Control をダウンロードしてインストールしてください。 これには Clarett 4Pre USB に必要な Windows USB ドライバが含まれます。画面上の全ての指示に従います。

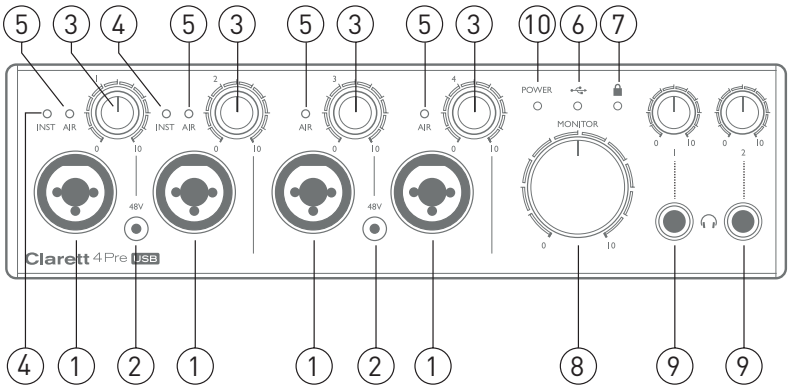
5. インストールが完了したら、コンピュータを再起動します。

6.再起動後、Clarett 4Pre USB を USB ケーブルでコンピュータに接続します。

7. 使用を始める際に不明な点がある場合は、こちらの動画ガイドをご覧ください。
www.focusrite.com/get-started/clarett-4preUSB

各部の名称と特徴

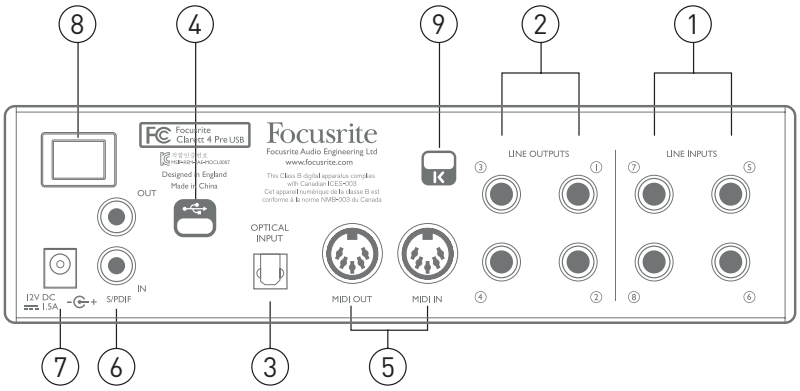
フロントパネル



フロントパネルには、入力ゲインとモニタリングコントロールに加えてマイク、ラインおよびインストゥルメント用の 4 つの入力コネクタが備わっています。

1. INPUT 1-4 – 各チャンネルに備わったコンボ XLR 入力ソケット - XLR コネクタでマイクを、あるいは 1/4 インチジャックでラインレベル信号を接続します。楽器（例：ギター）も 1/4 インチジャックで Input 1 および 2 に接続できます。TRS（バランス）および TS（アンバランス）ジャックプラグのどちらも楽器やラインレベル信号に使用できます。
2. **48V** – コンビコネクタの XLR 接触部にファンタム電源入力を有効にする 2 つのスイッチ。マイク入力 1 & 2 および 3 & 4 に対して独立して適用できます。各スイッチには赤い LED が備わっており、ファンタム電源が選択されていることを示します。ファンタム電源はコンデンサーとアクティブリボンマイクにのみ使用されるためご注意ください。ダイナミックマイク使用時には、ファンタム電源を選択しないで下さい。
3. ゲイン **1-4** – 4 つのロータリーコントロール：Input 1 ～ 4 に与えられる信号の入力ゲインを調整します。ゲインコントロールには 2 色の LED が備わっており、信号レベルを確認することができます。緑色は、最低 -42dBFS の入力レベル（「信号あり」）を示します。信号レベルが -6dBFS に達するとオレンジに、0dBFS では赤に変わります。
4. **INST** – Focusrite Control ソフトウェア上で Input 1 および 2 のジャック接点に INST モードが選択されている際に点灯する 2 つの LED。INST が選択されると、ライン入力は 2 極（TS）ジャックプラグによる楽器の直接接続に適したハイインピーダンス/アンバランス入力に変換されます。
5. **AIR** – Focusrite Control からの各入力に対して'AIR' 機能が選択された際に黄色の LED が点灯します。'AIR'では、入力部の周波数特性を変化させることによって、伝統的なトランスベースの Focusrite ISA マイクプリアンプをモデリングします。
6. （USB が有効）– 本体がホストコンピュータとの通信を確立した際に緑色の LED が点灯します。
7. （ロック）– Clarett 4Pre USB の内部クロックまたは外部デジタル入力のいずれかに対するクロック同期を示す緑色の LED。
8. **MONITOR** – メインモニター出力レベルコントロール – このコントロールは通常リアパネルのメインモニター出力のレベルを制御しますが、Focusrite Control で構成することで、アナログ出力のペアのいずれか、もしくは両方のレベルを調整することが可能です。
9. （ヘッドフォン）**1** および **2** - ヘッドフォンを接続します。これらの出力に供給されるステレオミックスは、Focusrite Control で構成することができます。ヘッドフォン 1 では常に LINE OUTPUTS 3 および 4 と同じミックスが生成されますが、ヘッドフォン 2 では Focusrite Control 内で Output 5 および 6 を使用することで完全に独立したミックスを行うことができます。各ヘッドフォン出力にはそれぞれ独自のボリュームコントロールが備わっています。
10. **POWER** – DC 電源が接続されている場合、緑の LED が点灯します。

リアパネル



1. **LINE INPUT 5-8** – 1/4 インチ TRS ジャックソケットであり、チャンネル 5-8 用の 4 つのバランスアナログライン入力。ラインレベルの信号を追加する際は 1/4 インチ TRS（バランス）または TS（アンバランス）ジャックプラグを使用してこちらに接続します。

2. **LINE OUTPUTS 1-4** – 1/4 インチジャックソケットで構成される 4 つのバランスアナログライン出力。バランス接続には TRS ジャックを、アンバランス接続には TS ジャックを使用してください。LINE OUTPUTS **1** および **2** はモニタリングシステムにおけるメインの L R スピーカーを駆動するために使用され、OUTPUTS 3 および 4 は追加のラインレベル機器（例：アウトボード FX プロセッサー）を接続するために使用できます。全ての出力にルーティングされる信号は Focusrite Control で設定が可能です。

3. **OPTICAL INPUT** – 44.1/48kHz サンプルレートのデジタルオーディオのチャンネルを 8 つ、88.2/96kHz では 4 つの伝送を ADAT フォーマットで実現する TOSLINK コネクタ。Clarett 4Pre USB への追加入力を可能にし、Focusrite Control 内では Input 11-18 として表示されます。オプティカル S/PDIF ソースで動作するよう設定することも可能です。176.4/192 kHz のサンプルレートでは入力部が無効となります。

4. – USB-C™ コネクタ。付属の USB-C to USB-C または USB-C to USB-A ケーブルを使用して Clarett 4Pre USB をお使いのコンピュータへ接続します。

5. **MIDI IN** および **MIDI OUT** – 外部 MIDI 機器を接続するための標準 5 ピン DIN ソケット。コンピュータから/へ MIDI データを伝送し、追加の MIDI デバイスに分配することができます。

6. **SPDIF IN** および **OUT** – 2 チャンネルのデジタルオーディオ信号を S/PDIF 形式で Clarett 4Pre USB から/へ伝送する 2 つの RCA ソケット。他の全ての入力および出力と同様に、S/PDIF 信号のルーティングは Focusrite Control でカスタマイズが可能です。S/PDIF 入力は、Focusrite Control 内で Input 9 および 10 として、S/PDIF 出力は Output 7 および 8 として表示されます。

7. 外部 DC 電源入力 – AC アダプター（PSU）を使用して Clarett 4Pre USB に電源を供給します。PSU は 1.5A 定格の 12V DC ユニットです。

8. 電源オン/オフスイッチ。

9. ケンジントンセキュリティスロット – 希望に応じて、お使いの Clarett 4Pre USB に適切なセキュリティ対策を施します。この機能の使用方法に関する詳細な情報は、http://www.kensington.com/kensington/us/us/s/1704/kensington-security-slot.aspx をご覧ください。

Clarett 4Pre USB を接続する

> **重要：**Clarett 4Pre USB をコンピュータに接続する前に、ページ 6 の指示に従ってソフトウェアのインストールを完了してください。これによりハードウェアが正しいドライバを使用し、予期せぬ動作を防止することができます。

Clarett 4Pre USB は、付属の AC アダプタ（PSU）を使用して電源を供給する必要があります。PSU をリアパネルの電源ソケットに接続し、電源スイッチをオンにして本体の電源を入れます。

Clarett 4Pre USB には USB-C™ ポートが備わっています（リアパネル）。ソフトウェアのインストールが完了したら、付属の USB-C ケーブルのうち一つを使用して Clarett 4Pre USB をコンピュータに接続します。

コンピュータのオーディオセットアップ

Clarett 4Pre USB をコンピュータに初めて接続する際には、オーディオ入力/出力機器として Clarett 4Pre USB を選択する必要があります。

- Mac OS：**システム環境設定** > **サウンド**で Focusrite デバイスを**入力**および**出力**の両方で選択します。
- Windows：**コントロールパネル** > **サウンド**で Focusrite デバイスを右クリックし、**「既定のデバイスとして設定」**を**録音**および**再生**タブの両方で選択します。

手順がわかりにくい場合、以下のページで全てのオペレーティングシステムで Clarett 4Pre USB をオーディオ機器として選択する方法の詳細が記されています：www.focusrite.com/get-started/clarett-4PreUSB

これにより、OS が自動的に Clarett 4Pre USB をデフォルトのオーディオ機器として選択します。

DAW でのオーディオセットアップ

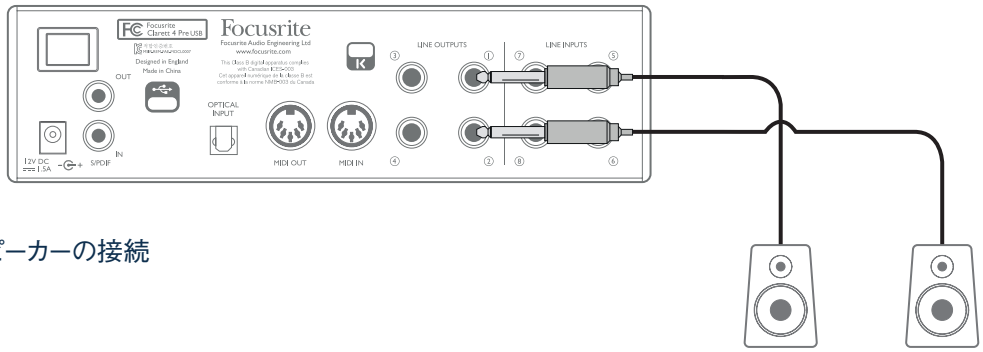
ドライバをインストールして本体を接続したら、DAW と一緒に Clarett 4Pre USB を使用することができます。

注意 - DAW が Clarett 4Pre USB をデフォルトの I/O デバイスとして自動的に選択しない場合があります。この場合、DAW の**オーディオ環境設定***ページから手動でドライバを選択する必要があります。そして、**Focusrite 4Pre USB**（Mac）または **Focusrite USB ASIO**（Windows）を選択します。オーディオデバイスとして Clarett 4Pre USB を選択する場所が不明な場合は、DAW のマニュアル（またはヘルプファイル）を参照してください。

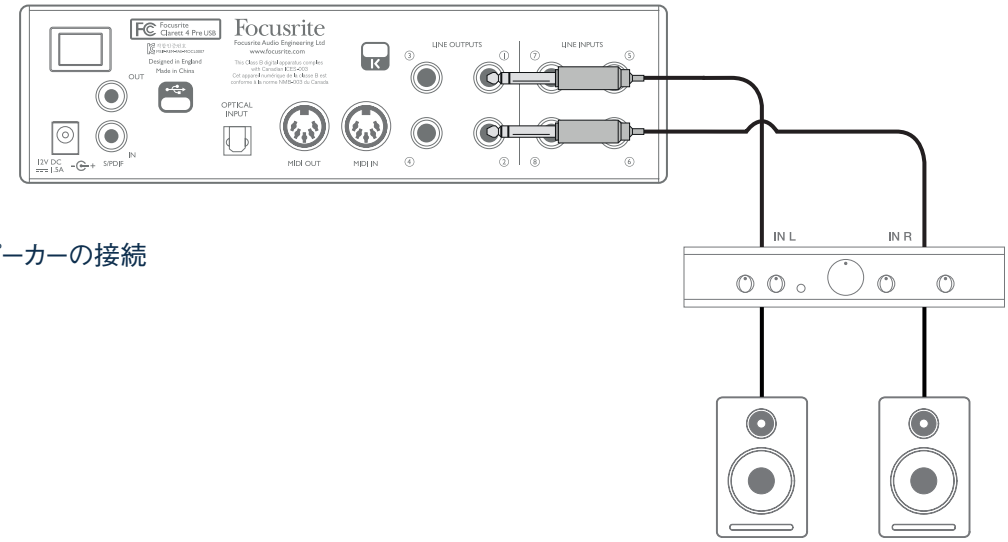
*一般的な呼称 - 名称は DAW によって異なる場合があります

Clarett 4Pre USB をラウドスピーカーに接続する

リアパネルの 1/4 インチジャック **LINE OUTPUTS 1** および **2** は、通常モニタリングスピーカーの駆動に使用されます。アンプ内蔵型モニターでは、内部にアンプが組み込まれているため直接接続することが可能です。パッシブラウドスピーカーには別途ステレオアンプが必要です。この場合、本体の出力部をアンプの入力部に接続する必要があります。



アクティブスピーカーの接続

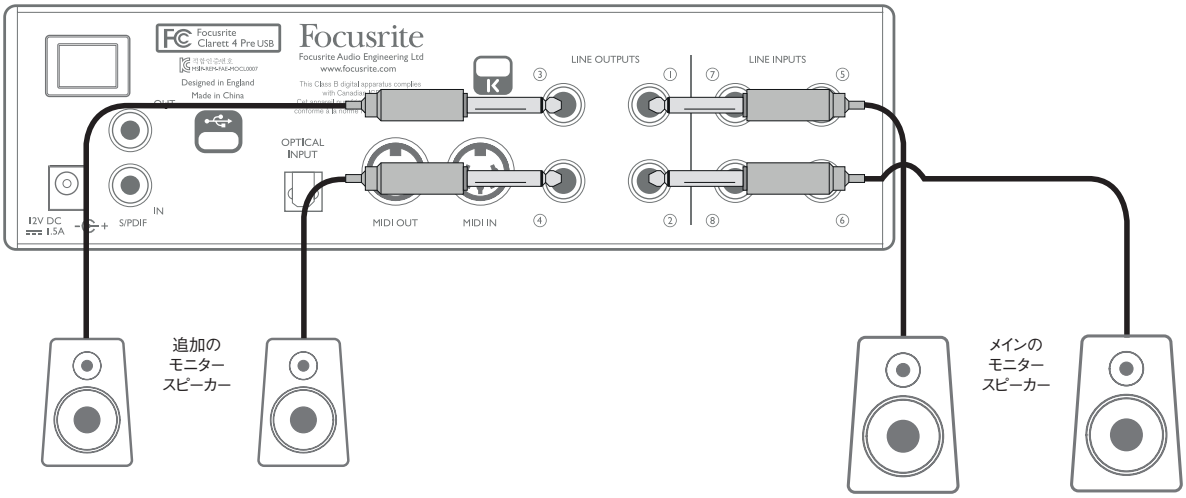


パッシブスピーカーの接続

プロフェッショナル用パワーアンプは一般的にバランス入力を備えています。アンプまたはパワードスピーカーにバランス入力が備わっている場合、3 極（TRS）1/4 インチジャックを使用して Clarett 4Pre USB に接続してください。

全てのライン出力コネクタは、3 極（TRS）1/4 インチジャックソケットであり、バランス接続です。一般的な家庭用（Hi-Fi）アンプと小型パワードモニターには、RCA ソケットにアンバランス入力が備わっています。

ミキシングを行う場合には、**LINE OUTPUTS 3** および **4** に追加のスピーカー（ミッドフィールド、ニアフィールドなど）を接続して、様々なタイプのスピーカーでミックスを確認することができます。Focusrite Control を使用することで、Output 1 および 2 のみならずこれらの出力にもミックスを簡単にルーティングすることが可能です。



重要：

LINE OUTPUTS 1 および **2** にはスピーカーを保護するための回路が備わっており、スピーカー（およびアンプ）が接続されアクティブな状態で Clarett 4Pre USB の電源が入れられた場合にも損傷を防ぎます。

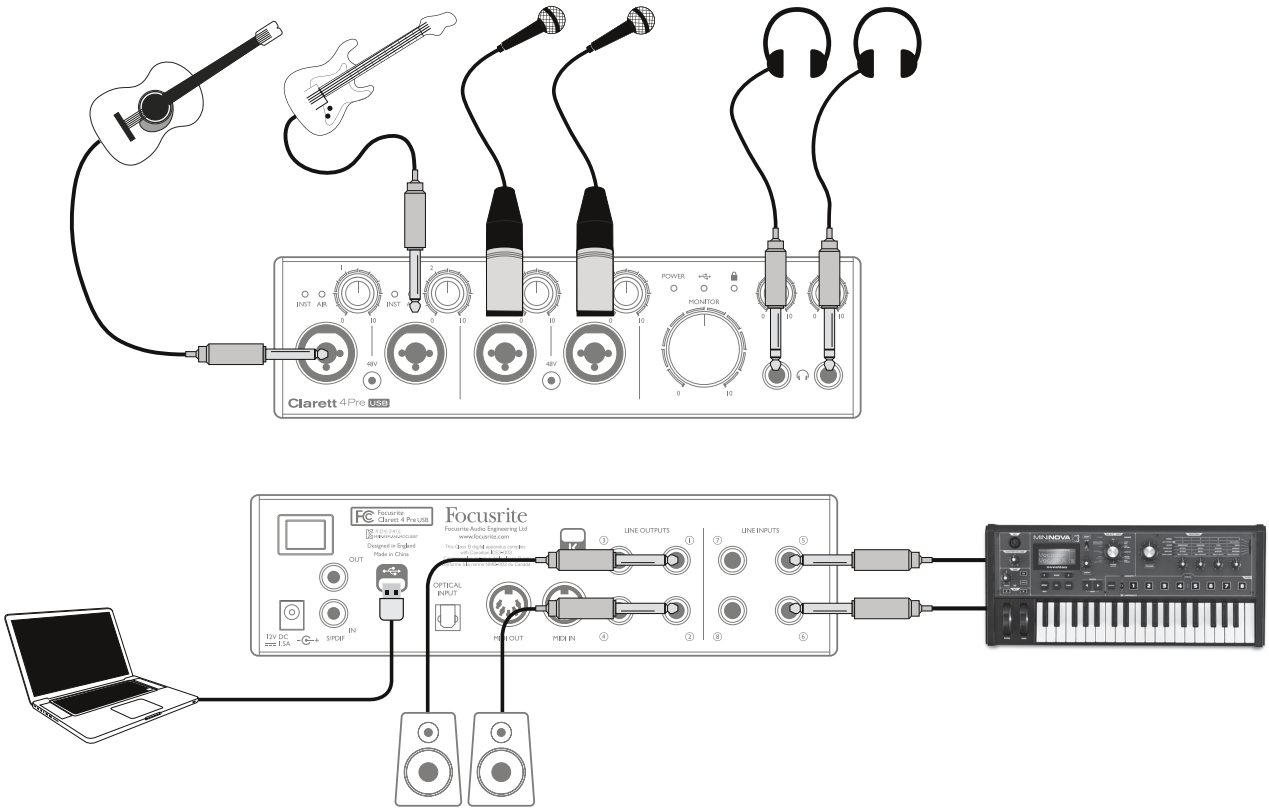
LINE OUTPUTS 3 および **4** にはこの回路が備わっていません。

これらの出力に追加のスピーカーを接続して使用している場合には、まずはじめに Clarett 4Pre USB の電源を入れてから、スピーカーまたはパワーアンプの電源を入れることを推奨します。いかなる場合にも、オーディオを供給する機器をオンにした後で、スピーカーシステムの電源を入れる手順を守ると良いでしょう。

使用例

Clarett 4Pre USB は、多くのレコーディングおよびモニタリングアプリケーションにとって優れた選択肢となります。一般的な構成例をいくつか以下に示します。

1. 小人数バンドのレコーディング



このセットアップでは、コンピュータで DAW ソフトウェアを使用して行うマルチトラックレコーディングの一般的な構成を示しています。

上図の例では、エレクトリックアコースティックギター、ベース、シンセ、そして 2 人のボーカリストで構成された、小さなアコースティックバンドのライブレコーディングを行っています。2 つのマイクと 2 つのギターは Clarett 4Pre USB のフロントパネルの入力に接続されています。Input 1 および Input 2 のみが、楽器を直接接続できるよう設定を行えるので、これらは 2 つのギターに使用しています。この時、Focusrite Control の Input 1 および 2 で INST モードが選択され、**INST** LED が点灯していることを確認してください。ボーカル用の 2 つのマイクは Input 3 および 4 に接続されています。コンデンサーマイクを使用する場合、48V ボタンを押してファンタム電源を有効にします。シンセからのステレオライン出力は、リアパネルの **LINE INPUT 5** および **6** に接続されています。

エンジニア側では、Headphone Output 1 を使用してレコーディングをモニターすることができます。Focusrite Control を使用することで、任意のモニタリングミックスを設定することが可能です。必要に応じてもう一種類ミックスを作成し、Headphone Output 2 にルーティングすると良いでしょう。

レイテンシーについて

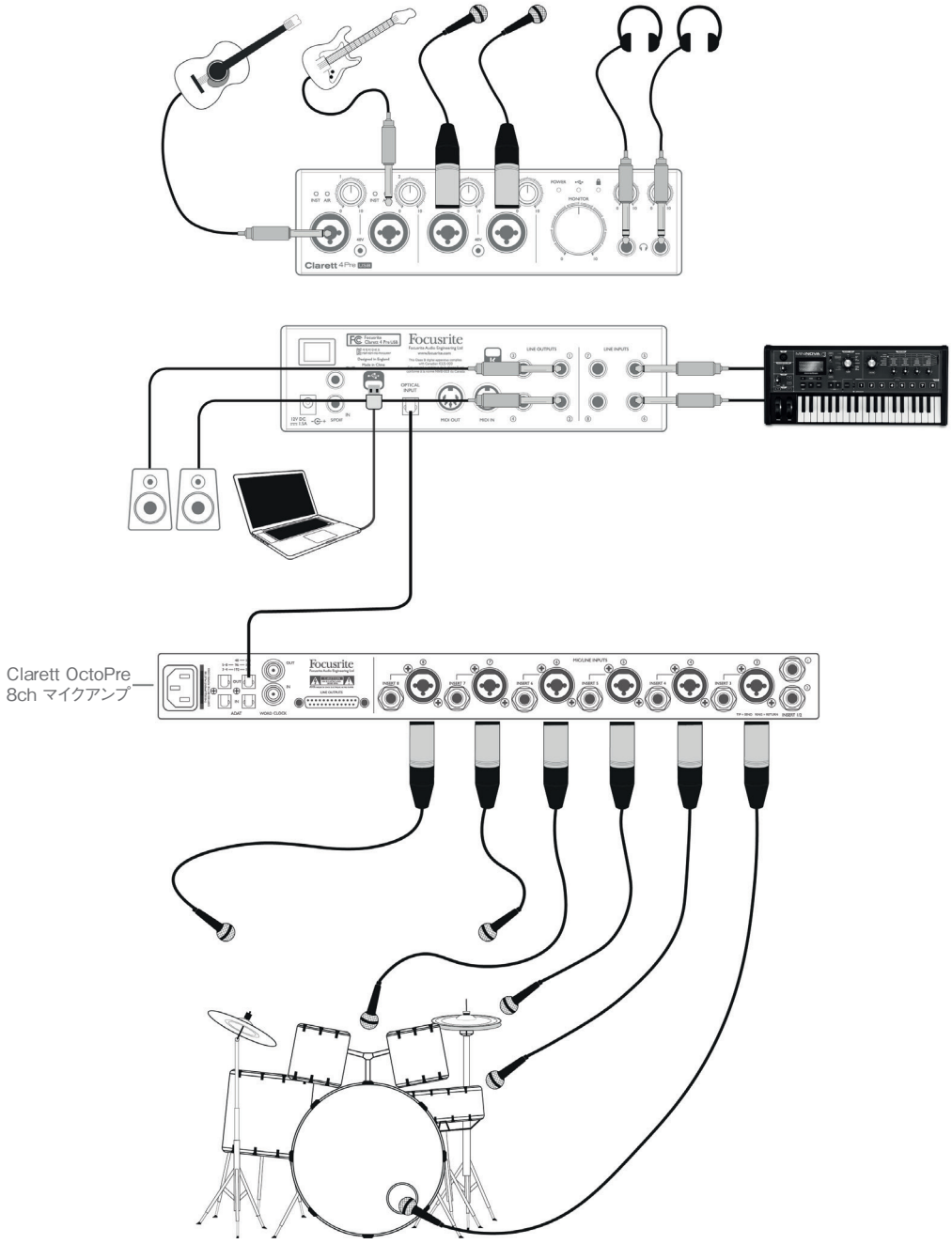
デジタルオーディオシステムに関連して「レイテンシー」という用語を聞くことがよくあるかと思います。上記のような DAW レコーディングアプリケーションの場合、レイテンシーとは、お使いのコンピュータおよびオーディオソフトウェアを入力信号が通過し戻ってくるまでにかかる時間です。レイテンシーは、シンプルな構成のレコーディング環境では問題になりませんが、特定の状況では入力信号をモニタリングしながらレコーディングを行いたい演奏者にとって障害となる可能性があります。これは、お使いの DAW レコーディングバッファのサイズを増やす必要がある場合に当てはまることがあり、多数の DAW トラック、ソフトウェア楽器、FX プラグインを使用して大きいサイズのプロジェクトでオーバーダブを行う際に必要となる場合があります。バッファの設定が低すぎる場合、オーディオのグリッチング（クリックやポップ）、またはお使いの DAW（多くの DAW では現状の CPU の使用量が表示されます）で CPU に異常な負荷がかかってしまうことが多々あります。こうした現象が Mac で見られる場合、DAW アプリケーション自体でバッファサイズを上げることができますが、Windows ではほとんどの場合この変更は **ASIO コントロールパネル**から行う必要があります。これには、通常 DAW の**セットアップ環境設定***よりアクセスが可能です。

Clarett 4Pre USB を Focusrite Control と一緒に使用すれば、ゼロレイテンシーでのモニタリングが可能となり、この問題を解決できます。これにより、Clarett 4Pre USB のヘッドフォン出力とライン出力に入力信号を直接ルーティングすることができます。非常に大きな DAW バッファサイズであっても演奏者はコンピュータの再生と一緒に、ゼロレイテンシー、つまり「リアルタイム」で効果的に自身の音声を聞くことができます。コンピュータへの入力信号は、この設定によっていかなる影響も受けません。ただしこの場合、ソフトウェアプラグインを通してライブの楽器に追加されている最中のエフェクトは、録音されてもヘッドフォンでは聞くことができなくなりますのでご注意ください。

*一般的な呼称 - 名称は DAW によって異なる場合があります

2. オプティカル接続を使用して（もしくは使用せずに）ドラムキットをレコーディングする

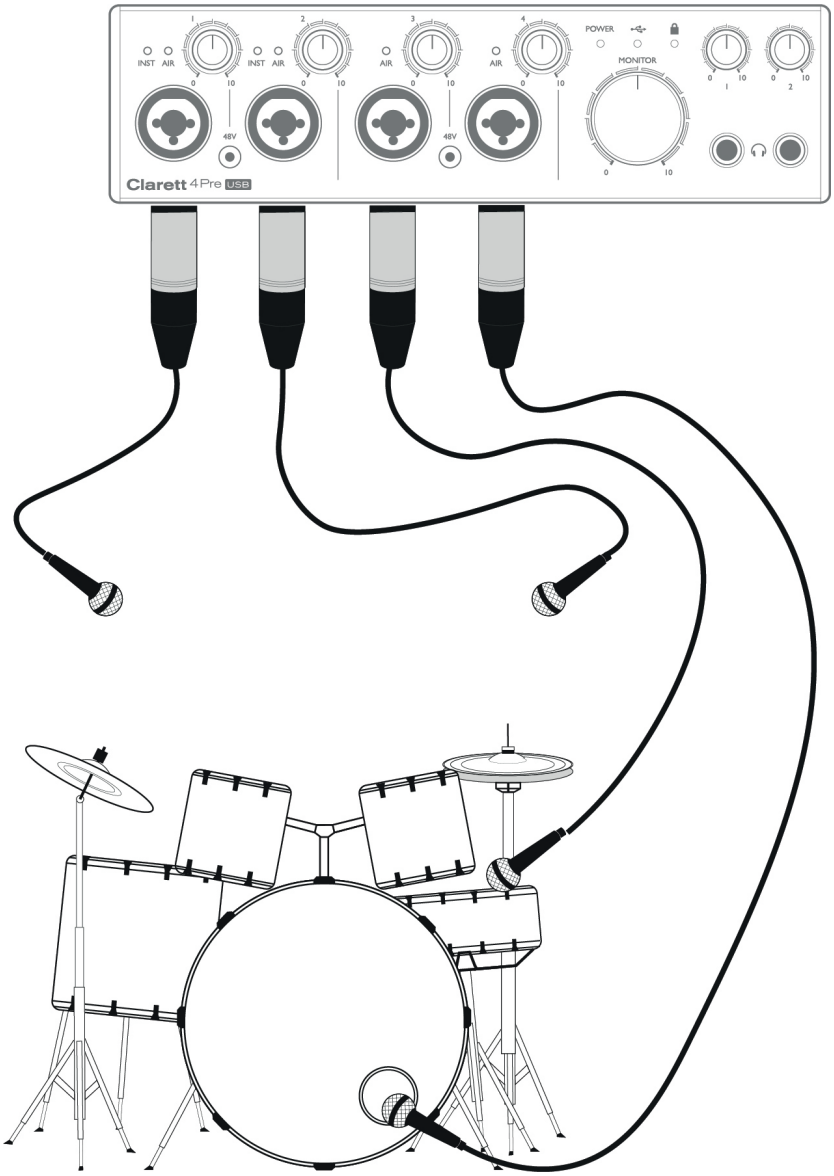
8 つのアナログ入力に加え、Clarett 4Pre USB には ADAT 入力ポート（**OPTICAL IN**）が搭載されています。これにより、44.1/48kHzのサンプルレートで 8 つのオーディオ入力を、88.2/96kHzで 4 つのオーディオ入力を追加することができます。Clarett OctoPre などの ADAT 出力を装備した 8 チャンネルマイクプリアンプを別途使用することで、Clarett 4Pre USB の入力機能を簡単に拡張することができます。これによって、以下のようにクローズマイクをドラムセットに加えることができ、録音の幅が広がります。



上図では、一本の TOSLINK オプティカルケーブルで Clarett OctoPre の **OPTICAL OUT** ポートが Clarett 4Pre USB の **OPTICAL IN** ポートに接続されています。クリックとポップを生じさせることなくオーディオがクリーンな状態で通過することを確保するために、二つの機器を同期させる必要があります。これは Focusrite Control ソフトウェア内の **Device Settings** タブで ADAT をクロックソースとして設定することで実現します。両機器は同一のサンプルレートに設定しなければなりません。

オプティカルポートの使用によって追加された入力は、Focusrite Control を使用することで、その他の入力と全く同じ方法でルーティングを行うことが可能です。必要に応じて、追加された入力をミュージシャンのヘッドフォンミックスに加えることができます。

ADAT が搭載されたマイクプリアンプをお持ちでない場合には、以下のように 4 つのマイクと Clarett 4Pre USB を使用してドラムのレコーディングを行うと良いでしょう。



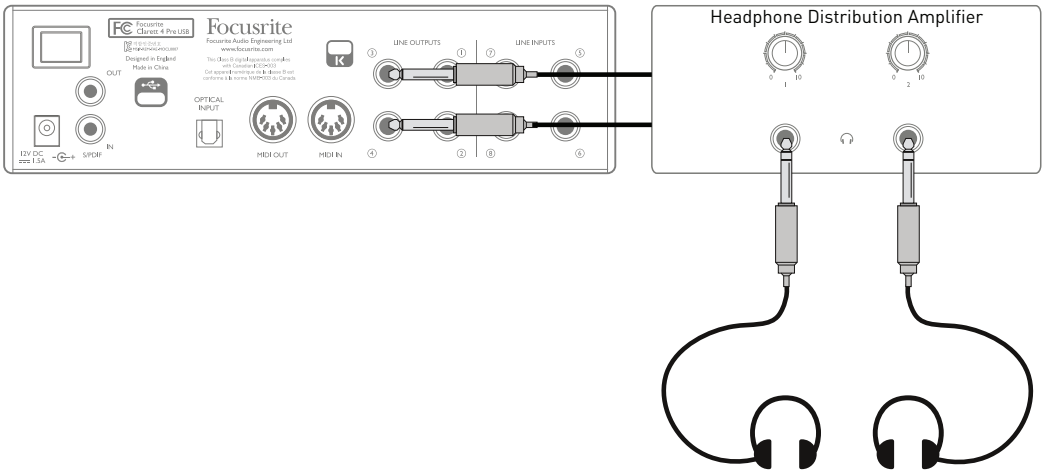
3. レコーディング中にフォールドバックを行う

多くの場合、他の演奏者の演奏を聴きながら自身の演奏を行ったり、オーバーダビングを行う場合には、既に録音されているトラックを同時に聞ける環境が必要となってきます。このような目的のために作成されるミックスはフォールドバックと呼ばれ、ヘッドフォンでこれを確認しながら演奏を行うことができます。

Focusrite Control では、モノラル/ステレオなど様々なミックスを構成することができ、Clarett 4Pre USB のいずれかの出力にルーティングされます。これにより、各演奏者が自身の必要とする構成のフォールドバックミックスを聞くことができます。各フォールドバックフィードは、演奏者自身が使用している入力や、他の演奏者がリアルタイムに演奏しているもの、そして既に録音されている DAW トラックなどを組み合わせて様々な形で構成することができます。ミックスの構成や、それらの Clarett 4Pre USB 出力部へのルーティング方法については、Focusrite Control ユーザーガイドを参照してください。

フロントパネルの 2 つのヘッドフォン出力はデフォルトミックスを生成します。ヘッドフォン 1 では LINE OUTPUT 3 および 4 にルーティングされるものと同じステレオミックスが供給されますが、ヘッドフォン 2 ではヘッドフォンモニタリング専用のミックスを独立して供給します。Focusrite Control では両方のミックス構成を設定でき、Output 3/4 ではヘッドフォン 1 から供給されるものを、Output 5/6（対応するリアパネルのソケットはありません）ではヘッドフォン 2 から供給されるものを設定します。

これらのいずれかまたは両方をフォールドバックミックスに使用することができ、各出力でそれぞれ 1 つのヘッドフォンを直接使用することができます。これは最も簡単な方法であり、ステレオミックスを行える利点があります。追加のヘッドフォンを使用する必要がある場合は、セットアップに外付けヘッドフォンアンプを追加する必要があります。



入力信号からのモニターミックスを聞く場合には、録音を行っている DAW チャンネルがミュートされていることを確認してください。そうでない場合、一つの信号がエコーとして遅れて聞こえてしまうため、演奏者には自身の音声が二度聞こえてしまいます。

FOCUSRITE CONTROL - 概要

Focusrite Control は Clarett 4Pre USB と一緒に使用するソフトウェアアプリケーションであり、 各演奏者のためにカスタムモニターミックスを作成したり、全てのオーディオ信号を本体のオーディオ出力部にルーティングすることができます。サンプルレート選択、デジタル同期、バッファサイズ設定（Windows のみ）を Focusrite Control で行うことが可能です。

注記：Focusrite Control は Focusrite 製品ラインナップのその他のハードウェアインターフェースにも対応しています。 Clarett 4Pre USB をコンピュータに接続し、Focusrite Control を起動すると、インターフェースのモデルが自動的に検出され、使用しているハードウェアに適合するようソフトウェアが正しく構成されます。

Focusrite Control には専用のユーザーガイドが用意されており、ソフトウェアの全ての側面に関する詳細な操作手順が記載されています。 www.focusrite/downloads よりダウンロードが可能です。

Clarett 4Pre USB 技術仕様

性能仕様

構成	
入力	18：アナログ（8）、S/PDIF（2）、ADAT（8）
出力	8：アナログ（4）、S/PDIF（2）、HP（2）
ミキサー	完全に割り当て可能な 26 イン/10 アウトミキサー
デジタル性能	
対応サンプルレート	44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz
マイク入力	
周波数特性	20Hz ～ 35kHz +/-0.5dB（最小ゲイン）
ダイナミックレンジ	118dB
THD+N	0.0009%
ノイズ EIN	<–128dB（A特性）
最大入力レベル	+18dBu（最小ゲイン）
ゲインレンジ	57dB
ライン入力 1 ～ 4（可変ゲイン）	
周波数特性	20Hz ～ 35kHz +/-0.5dB（最小ゲイン）
ダイナミックレンジ	118dB
THD+N	0.001%
最大入力レベル	+26dBu（最小ゲイン）
ゲインレンジ	57dB
ライン入力 5 ～ 8（固定ゲイン）	
周波数特性	20Hz ～ 35kHz +/-0.5dB（最小ゲイン）
ダイナミックレンジ	118dB
THD+N	0.001%
最大入力レベル	+18dBu（最小ゲイン）
ゲインレンジ	57dB
楽器入力	
周波数特性	20Hz ～ 35kHz +/-0.5dB（最小ゲイン）
ダイナミックレンジ	117dB
THD+N	0.001%
最大入力レベル	+14dBu（最小ゲイン）
ゲインレンジ	57dB

ラインおよびモニター出力	
ダイナミックレンジ	118dB
THD+N	0.0006%
最大出力レベル（0dBFS）	+18dBu、バランスライン/TRS 出力
ヘッドフォン出力	
ダイナミックレンジ	115 dB（A 特性）
THD+N	0.0003%> 100R
最大出力レベル	+15dBu>100R

物理的特性と電気的特性

アナログ入力 1 ～ 4	
コネクタ	コンボ XLR ソケット：フロントパネルの マイク/ライン/楽器（Input 1 と 2）、マイク/ライン（Input 3 と 4）
マイク/ライン切替	自動
ライン/楽器切替（Input 1 & 2）	Focusrite Control 経由
ファンタム電源	Input 1 & 2、3 & 4 用の +48V スイッチ
アナログ入力 5 ～ 8	
コネクタ	4 x リアパネルのバランス 1/4 インチ TRS ジャック
アナログ出力	
メイン出力	4 x リアパネルのバランス 1/4 インチ TRS ジャック
ステレオヘッドフォン出力	2 x フロントパネルの 1/4 インチ TRS ジャック
メインモニター出力レベルコントロール	フロントパネル上
ヘッドフォンレベルコントロール	
その他の入出力	
ADAT 入力	TOSLINK オプティカルコネクタ： 44.1/48kHz の場合 8 チャンネル 88.2/96kHz の場合 4 チャンネル オプティカル S/PDIF 入力（選択可能）
S/PDIF 入出力	2 x RCA
データコネクタ（コンピュータ用）	1 x USB-C™ コネクタ
MIDI 入出力	2 x 5-ピン DIN ソケット
重量および寸法	
幅 x 奥行 x 高さ	222mm x 192mm x 63.5mm / 8.74 インチ x 7.56 インチ x 2.5 インチ
重量	1.35kg 2.98 ポンド

トラブルシューティング

トラブルシューティングに関する質問がある場合は、次の Focusrite Answerbase のウェブサイトへアクセスしてください。
www.focusrite.com/answerbase このウェブページでは多数のトラブルシューティング例を紹介しています。

著作権表示と法定通知

Focusrite は登録商標であり、Clarett 4Pre USB は Focusrite Audio Engineering Limited の商標です。

その他全ての商標および商品名はそれらの個別の所有者の財産です。
2017 © Focusrite Audio Engineering Limited. All rights reserved.